

平成27年度 第1回  
久留米市地域公共交通会議 議案

《協 議》

協議第1号 久留米市生活交通確保維持改善計画（地域公共交通バリア解消促進等事業）の策定について

----- P 1

協議第1号

久留米市生活交通確保維持改善計画（地域公共交通  
交通バリア解消促進等事業）の策定について

久留米市生活交通確保維持改善計画（地域公共交通バリア解消促進等事業）の策定について、別紙のとおり承認を求める。

平成27年 5月19日提出

久留米市地域公共交通会議  
会長 深井 敦夫

# 久留米市生活交通確保維持改善計画（地域公共交通バリア解消促進等事業）の策定について

## 1. 協議事項

国土交通大臣への補助金交付申請（地域公共交通確保維持改善事業（バリア解消促進等事業））に必要な生活交通確保維持改善計画を策定することについて承認を求める。

### 策定条件

- 事業実施の際、導入場所、数量については、関係事業者と調整を行うものとする。

## 2. 計画内容

### ■ 生活交通確保維持改善計画（バリアフリー化設備等整備事業）

国庫補助である地域公共交通確保維持改善事業補助金のうち、バリアフリー化設備等整備事業に関して、主に次に掲げる事項について記載したもの

- ① 目的・必要性
- ② 定量的な目標・効果及び事業内容
- ③ 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
- ④ 計画期間

#### 1) 事業の目的・必要性

（目的）誰もが安全に乗降でき、快適・円滑に利用できる公共交通機関のバリアフリー化を推進する。

（必要性）高齢化の進展に伴い、バリアフリー化に向けたバス車両や待合環境などの機能向上の必要性がますます高まっている。

#### 2) 定量的な目標・効果及び事業内容

- ① ノンステップバス導入 1台（乗降性の高い車両を導入し利便性を向上）
- ② 高規格化停留所設置 1基  
（上屋、ベンチ等を整備し待合環境を向上：六ツ門を予定）
- ③ バスロケーションシステム表示機設置 6基  
（運行状況や到着時間等の情報を提供できる表示機を設置し、利用者が安心して利用できる環境を整備：西鉄久留米、JR久留米、六ツ門を予定）

### 3) 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
ノンステップバスの導入	21,000 千円	700 千円	0 千円	700 千円	19,600 千円
	100%	3.33%	0%	3.33%	93.34%
高規格化停留所	5,000 千円	1,666 千円	0 千円	3,334 千円	0 千円
	100%	33.33%	0%	66.67%	0%
バスロケーションシステム表示機設置	9,000 千円	3,000 千円	0 千円	6,000 千円	0 千円
	100%	33.33%	0%	66.67%	0%
計	35,000 千円	5,366 千円	0 千円	10,034 千円	19,600 千円
	100%	15.33%	0%	28.67%	56.00%

※事業費用は概算によるものであり、見積書の徴収の結果訂正する可能性有

### 4) 計画期間

平成27年度（平成28年度、29年度も継続して導入を予定）

### 【参 考】

